

募集要領

単位互換協定に基づく単位互換校の 授業科目の履修について（2026年度第2学期）

1 単位互換制度

大学間で単位互換協定を締結することにより、他の大学等で修得した単位を所属する大学で修得した単位として認定する制度を単位互換制度といいます。

放送大学では、全科履修生として在学中で、且つ定められた出願資格を満たす学生は、単位互換協定を締結している他大学等（以下「単位互換校」という）において、授業科目を履修することができ、修得した単位は放送大学の単位として認定されます。

- (注) 1 単位互換校で修得した単位は、60 単位までを限度に放送大学の単位として認定します。（科目区分は申請後、本学の教務委員会において審議決定の上、申請者に通知します。授業形態区分は、原則として面接授業の単位となります。）
- 2 単位互換校で修得した単位は、履修学期の修得単位として認定されますが、放送大学での単位認定は、履修学期の翌学期（2027年度第1学期）に行います。よって、翌学期（2027年度第1学期）も全科履修生としての学籍がある方しか本制度への出願をすることはできません。
- 3 単位互換校で修得した単位により卒業要件を満たすことになる場合、履修学期（2026年度第2学期）末ではなく、翌学期（2027年度第1学期）末の卒業となります。

本制度は、放送大学学長の推薦に基づき単位互換校の学長が入学を許可するものです。

・出願後の個人的事由による辞退は認められません。学期を通しての授業履修が可能かどうか、予め見極めた上で出願を行ってください。

（やむを得ない理由で辞退する場合は、理由書等の提出が必要となります。受理後、放送大学長から単位互換の学長宛に辞退の申し入れを行います。）

・**本学内での選考で、面接授業等における学習態度その他を総合的に勘案し、推薦を行わないことがあります。**

重要

2 実施する単位互換校及び担当学習センター（2026年度第2学期）

（下記一覧以外の大学等では実施していません）

No.	単位互換校名	担当学習センター
1	学都仙台コンソーシアム加盟大学	宮城学習センター
2	茨城キリスト教大学	茨城学習センター
3	人間総合科学大学	埼玉学習センター
4	千葉大学	千葉学習センター
5	横浜国立大学	神奈川学習センター
6	松蔭大学	神奈川学習センター
7	福井県立大学	福井学習センター
8	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜加盟大学	岐阜学習センター
9	滋賀大学	滋賀学習センター
10	大阪大学	大阪学習センター
11	太成学院大学	大阪学習センター
12	島根大学	島根学習センター
13	島根県立大学	島根学習センター
14	山口大学	山口学習センター
15	香川大学	香川学習センター
16	松山短期大学	愛媛学習センター
17	九州大学（2学期のみ実施）	福岡学習センター
18	福岡女子大学	福岡学習センター
19	大学コンソーシアム佐賀加盟大学	佐賀学習センター
20	熊本大学（2学期のみ実施）	熊本学習センター
21	鹿児島大学	鹿児島学習センター

3 出願から学習修了までのスケジュール

事 項	日 程	備 考
出願相談 申請書類の提出	～2026年8月中旬	相談窓口・提出先： 担当学習センター
特別聴講学生受入 決定の通知	2026年9月下旬以降	単位互換校から本人に通知
授業料の納付 学生証の交付	(単位互換校により 異なります)	場所：単位互換校
講義の履修	2026年10月 ～2027年3月 (単位互換校により、 異なる場合があります)	場所：単位互換校
単位認定試験の受験	(履修科目の担当教員の指 示を受けて下さい)	場所：単位互換校
成績通知	2027年3月中旬	単位互換校から本人に通知
単位の認定	2027年4月	単位互換校で修得した単位を 本学の単位として認定

4 募集内容

1 出願資格

単位互換校の授業科目を履修できるのは、次の3つの要件をすべて満たしている方になります。

- ① 出願時及び履修時及び単位認定時に**全科履修生である者**
(2026年度第1学期～2027年度第1学期に全科履修生として在学中であること)
- ② 出願時に本学の在学年数が**通算1年以上の者**(2025年度第1学期以前の入学者)
(※編入生の場合、編入により短縮された年数は含まない)
- ③ 出願時に**放送授業科目において30単位以上を修得している者**

(注) 1 選科履修生及び科目履修生の方は出願できません。
2 編入学の方は③に関し「既修得単位認定をした単位を含む」とします。

2 選考方法

募集人員を超えた場合は、卒業要件の達成度に応じた以下の優先順位のほか、履修願の提出順による選考を行います。**また、募集人員を超えない場合でも、面接授業等における学習態度その他を総合的に勘案し、推薦を行わない場合もあります。**あらかじめご承知おきください。

【優先順位】

- ① 面接授業20単位未修得者で総単位数が93単位以上修得者
- ② 面接授業20単位未修得者で総単位数が93単位未満修得者
- ③ 面接授業20単位以上30単位未満修得者
- ④ 面接授業30単位以上修得者

3 履修できる授業科目

単位互換校が指定した科目の中で、本学において基盤科目、導入科目、専門科目に相当する科目として認められた科目となります。認められない場合は、履修不可となります。

4 出願のための履修相談

単位互換校における授業科目履修を希望する方は、単位互換校の履修可能科目及び履修要件等について、担当学習センターで確認・相談してください。

5 出願期間

2026年 7月 31日（金）17:00まで 【期間厳守】

6 出願書類及び提出先

- ①「単位互換協定に基づく授業科目履修出願票」（単位互換校提出用）（様式1）
 - ②「単位互換校における授業科目履修願」（放送大学提出用）（様式2）
- 必要事項を記入のうえ、様式1及び様式2ともに担当学習センターに提出してください。

- （注）
- 1 単位互換校へ直接出願することはできません。
 - 2 単位互換校で既に単位を修得した科目及び履修中の科目を再履修することはできません。

※資格取得に関する科目については、担当学習センターにお問い合わせください。

単位互換校に確認のうえ回答します。

※通学が可能な場合、所属学習センター以外のセンターが担当する単位互換校の履修は可能ですが、出願書類の提出先及び取りまとめは各単位互換校の担当学習センターとなります。

【重要】

本制度は、放送大学学長の推薦に基づき単位互換校の学長が入学を許可するものです。
出願後の個人的事由による辞退に関しては、認められません。

（やむを得ない理由で辞退する場合は、理由書他の提出が必要となります。）

学期を通しての授業履修が可能かどうかを見極めた上で出願を行って下さい。

7 学費

入学料は必要ありません（単位互換制度により）。

授業料は、単位互換校の定める額になりますので、単位互換校により異なります。

なお、受講科目によっては、授業料以外にテキスト代等の費用がかかる場合があります。

学費は、入学を許可された者が単位互換校に直接納入します。

- （注）
- 1 出願の時点では学費納入の必要はありません。
 - 2 放送大学への学費の納入はできません。
 - 3 授業料は期限内に納付してください。一旦納入された授業料は、理由のいかんを問わず返還されません。

8 学生の身分

単位互換校における学生の身分は、ほとんどの大学では「特別聴講学生」になります。ただし、単位互換校によっては「科目等履修生」等の名称により取り扱うこともあります。

9 身体に障がいがある方の出願

身体に障がいのある方で出願を希望される方は、事前に担当学習センターの窓口で

ご相談ください。

単位互換校に相談の上で、受入が可能かどうかを学生本人に連絡します。

5 本学での選考等結果の通知

- 1 選考の結果、単位互換校に推薦しない者については、その旨を通知します。
- 2 放送大学から推薦した学生は、単位互換校における受入審査を経て、入学が許可されることとなります。入学の可否については、単位互換校より学生へ通知されます。
放送大学は単位互換校からの入学可否の通知を受け、単位互換校で受講する授業科目の放送大学での科目区分とともに、学生へ特別聴講学生受入の決定について通知します。

6 入学手続き等

授業料納入及び履修に関する手続きは、単位互換校の指示に従い、期限までに行ってください。

授業の履修方法などについては、入学後に単位互換校の所属する学部 directly お問い合わせください。

7 単位認定試験

単位認定試験は、単位互換校が行う試験を受験することとなります。試験日等の詳細は履修科目の担当教員の指示を受けてください。

(注) 放送大学では、単位互換校で行われる単位認定試験についてのお問い合わせには応じられません。

8 成績通知

単位互換校で履修した科目の単位認定試験の成績は、単位互換校より学生へ通知されません。

放送大学では 2027 年 4 月に単位互換校で修得した単位の認定を行い、学生へ通知します。なお、単位互換校が認定した単位は、本学の面接授業単位として認定されません。

令和8年度放送大学に対する開放科目一覧（普通教育科目・共通専門基礎科目）

番号	講義コード	科目名	単位	期別	曜日 時限	主担当教員	大学設置基準第25条第2項等で 規定する遠隔授業により実施する 授業科目（※）	備考（受け入 れ可能人数）
1	G111N01101	Business English Communication I	1	T1-2	金3	MINNS OWEN THOMAS		若干名
2	G111N02101	Professional English I	1	T1-2	火2	PROWSE MILES		若干名
3	G111N02201	Professional English II	1	T4-5	月3	PROWSE MILES		若干名
4	G111N06101	Study Abroad Preparation B I	1	T1-2	月2	HARRINGTON LUKE E.S.		若干名
5	G111N06201	Study Abroad Preparation B II	1	T4-5	水2	HARRINGTON LUKE E.S.		若干名
6	G111N07101	Study Abroad Preparation C I	1	T1-2	金3	JACKSON LEVETH E. P.		若干名
7	G111N07201	Study Abroad Preparation C II	1	T4-5	金3	JACKSON LEVETH E. P.		若干名
8	G111N09101	Effective Language Learning Strategies	1	T4-5	木2	WERNER ROBERT JAY		若干名
9	G111N12101	Media English	1	T4-5	水3	PROWSE MILES		若干名
10	G111N15101	English for Everyday Communication(1)	1	T1-2	水1	HARRINGTON LUKE E.S.		若干名
11	G111N15102	English for Everyday Communication(2)	1	T4-5	金1	HARRINGTON LUKE E.S.		若干名
12	G111N51201	Advanced English Presentation	1	T4-5	金2	物井 尚子		若干名
13	G111N51301	場面から学ぶ英語表現	1	T1-2	金3	星野 由子		若干名
14	G111N51901	多読と語彙・文法学習	1	T4-5	月3	西垣 知佳子		若干名
15	G114147001	ロシア語Ⅴ展開（表現b）	1	T1-2	火3	大森 雅子		若干名
16	G114169001	ロシア語Ⅵ展開（読解b）	1	T4-5	火3	高橋 知之		若干名
17	G115191001	中国語Ⅴ展開（表現b）	1	T1-2	水2	WANG WEITING		若干名
18	G115192001	中国語Ⅴ展開（読解a）	1	T1-2	火4	兒玉 香菜子		若干名
19	G115193001	中国語Ⅴ展開（読解b）	1	T4-5	火4	周 飛帆		若干名
20	G115194001	中国語Ⅵ展開（表現a）	1	T4-5	水2	WANG WEITING		若干名
21	G116158001	朝鮮語（韓国語）Ⅴ展開	1	T1-2	木2	高 民定		若干名
22	G116168001	朝鮮語（韓国語）Ⅵ展開	1	T4-5	木2	高 民定		若干名
23	G15A037001	古典ギリシア語講読1	2	T1-2	月4	酒嶋 恭平		若干名
24	G15A082001	哲学B 1	1	T4	水2	秋葉 剛史		若干名
25	G15A083001	哲学B 2	1	T5	水2	秋葉 剛史		若干名
26	G15A101001	中国哲学	2	T4-5	月2	内山 直樹		若干名
27	G15B012001	人間行動と社会 1	1	T4	木4	磯邊 聡		若干名
28	G15B013001	人間行動と社会 2	1	T5	木4	磯邊 聡		若干名
29	G15B042005	心理学A 1 (5)	1	T4	火5	大隅 尚広		若干名
38	G15B043005	心理学A 2 (5)	1	T5	火5	大隅 尚広		若干名
30	G15B062001	心理学C 1	1	T4	水1	西口 雄基		若干名
31	G15B063001	心理学C 2	1	T5	水1	西口 雄基		若干名
32	G15C003001	ジェンダーを考えるB	1	T2	火5	米村 千代		若干名
33	G15C012001	ジェンダーを考えるC	1	T4	火5	五十嵐 洋己		若干名
34	G15C013001	ジェンダーを考えるD	1	T5	火5	佐々木 綾子		若干名
35	G15C022001	伊豆諸島の文化と自然	1	T2	火5	和田 健		若干名
36	G15C042001	環境をデザインする	1	T1	水2	佐藤 公信		若干名
37	G15C061001	文化人類学	2	T1-2	木5	高橋 絵里香		若干名
39	G15C067001	芸術学A	1	T1	水3	神野 真吾		若干名
40	G15C068001	芸術学B	1	T2	水3	神野 真吾		若干名
41	G15C138001	軍記物語を読む1	1	T1	水4	久保 勇		若干名
42	G15C139001	軍記物語を読む2	1	T2	水4	久保 勇		若干名
43	G15C186001	日本文化を考える1	1	T4	水4	久保 勇		若干名
44	G15C187001	日本文化を考える2	1	T5	水4	久保 勇		若干名
45	G15C271001	製品デザイン論	2	T4-5	木2	UEDA EDILSON SHINDI		若干名
46	G15C541001	日本近現代文学を読むA	1	T4	金2	小林 洋介		若干名
47	G15C542001	日本近現代文学を読むB	1	T5	金2	小林 洋介		若干名
48	G15C551001	日本語文法再入門1	1	T4	金3	鈴木 彩香		若干名
49	G15C552001	日本語文法再入門2	1	T5	金3	鈴木 彩香		若干名
50	G15C581001	囲碁入門	1	T4	水5	鎌田 浩二		若干名
51	G15C591001	囲碁中級	1	T5	水5	鎌田 浩二		若干名
52	G15C611001	アイヌ語を通して文化を学ぶ1	1	T1	月4	阪口 諒		若干名
53	G15C612001	アイヌ語を通して文化を学ぶ2	1	T2	月4	阪口 諒		若干名
54	G15D002001	近代日本のアジア観	1	T2	金3	見城 梯治		若干名
55	G15D042001	観光を考える	1	T4	水2	植田 憲		若干名

番号	講義コード	科目名	単位	期別	曜日 時限	主担当教員	大学設置基準第 25 条第 2 項等で 規定する遠隔授業により実施する 授業科目 (※)	備考 (受け入 れ可能人数)
56	G15D102001	歴史学 A 1	1	T1	火2	BIONTINO JULJAN E.		若干名
57	G15D103001	歴史学 A 2	1	T2	火3	BIONTINO JULJAN E.		若干名
58	G15D122001	歴史学 D 1	1	T4	火3	大峰 真理		若干名
59	G15D124001	歴史学 D 2	1	T5	火3	大峰 真理		若干名
60	G15D132001	考古学 A 1	1	T4	月3	阿部 昭典		若干名
61	G15D136001	考古学セミナー 1	1	T1	火2	山田 俊輔		若干名
62	G15D137001	考古学セミナー 2	1	T2	火2	山田 俊輔		若干名
63	G15D144001	歴史学 E 1	1	T1	月1	伊東 久智		若干名
64	G15D145001	歴史学 E 2	1	T2	月1	伊東 久智		若干名
65	G15D264001	経済学 D 1	1	T1	水3	落合 勝昭		若干名
66	G15D265001	経済学 D 2	1	T2	水3	落合 勝昭		若干名
67	G15D341001	画像工学入門	2	T4-5	木5	椎名 達雄		若干名
68	G15D421001	実務家による金融基礎知識	2	T1-2	火3	大鋸 崇		若干名
69	G15D582001	教育社会学 B	1	T5	火3	白川 優治		若干名
70	G15D748001	会計学 D 1	1	T4	火3	鬼塚 雄大		若干名
71	G15D749001	会計学 D 2	1	T5	火3	鬼塚 雄大		若干名
72	G15D761001	歴史学 B (1)	1	T1	水5	岩城 高広		若干名
73	G15D761002	歴史学 B (2)	1	T2	水5	岩城 高広		若干名
74	G15D781001	歴史学セミナー A 1	1	T1	水5	檜皮 瑞樹		若干名
75	G15D782001	歴史学セミナー A 2	1	T4	水5	檜皮 瑞樹		若干名
76	G15D801001	生命保険を考える	1	T4	水3	皆川 宏之		若干名
77	G15E032001	環境問題 A	1	T2	金3	岡山 咲子		若干名
78	G15E033001	環境問題 B	1	T5	金3	岡山 咲子		若干名
79	G15E201001	緑と食の環境問題	2	T4-5	水5	深野 祐也		若干名
80	G15E243001	地球環境とリモートセンシング A	1	T1	木2	楊 偉		若干名
81	G15E244001	地球環境とリモートセンシング B	1	T2	木2	小槻 峻司		若干名
82	G15E261001	地震と災害	1	T1	水2	佐藤 利典		若干名
83	G15E271001	ユーラシア地球環境学 1	1	T4	月3	竹内 望		若干名
84	G15E272001	ユーラシア地球環境学 2	1	T5	月3	竹内 望		若干名
85	G15E287001	動物の体ができる仕組み	1	T5	水1	石川 裕之		若干名
86	G15E289001	生物間相互作用と生物多様性	1	T4	水1	村上 正志		若干名
87	G15E292001	電池の科学	1	T5	木5	津田 哲哉		若干名
88	G15E293001	人間と植物の関わり：江戸の大名庭園見学	2	T4	木5	竹内 智子		若干名
89	G15E294001	森林に癒やされる	1	T5	木4	高橋 輝昌		若干名
90	G15E295001	企業における環境サステナビリティ	1	T5	木4	岡山 咲子		若干名
91	G15F022001	微生物とヒトのサイエンス 1	1	T4	木4	西城 忍		若干名
92	G15F023001	微生物とヒトのサイエンス 2	1	T5	木4	西城 忍		若干名
93	G15F124001	生きるを考える	1	T4	火3	池崎 澄江		若干名
94	G15F251001	昆虫を科学する	1	T4	月4	野村 昌史		若干名
95	G15F271001	遺伝子発現制御とゲノム維持	1	T4	火3	浦 聖恵		若干名
96	G15F271101	遺伝子を扱う技術	1	T4	水5	田尻 怜子		若干名
97	G15F301001	社会の中のくすり A	1	T4	火2	西田 紀貴		若干名
98	G15F302001	社会の中のくすり B	1	T5	火2	伊藤 晃成		若干名
99	G15H033001	実験で体験する物理	2	T1-2	木5	深澤 英人		若干名
100	G15H041001	化学(1)(展開)	2	T4-5	金2	勝田 正一		若干名
101	G15H041002	化学(2)(展開)	2	T1-2	金3	城田 秀明		若干名
102	G15H061001	物理化学 A (展開)	2	T1-2	水1	森田 剛		若干名
103	G15H071001	物理化学 B (展開)	2	T4-5	水1	大場 友則		若干名
104	G15H151001	生物学	2	T1-2	火3	伊藤 素行		若干名
105	G15H272001	エネルギーについて学ぶ (1)	1	T4	木2	三野 弘文		若干名
106	G15H272002	エネルギーについて学ぶ (2)	1	T5	木2	三野 弘文		若干名
107	G15H281001	地球科学 A 1	1	T1	火3	竹内 望		若干名
108	G15H282001	地球科学 A 2	1	T2	火3	竹内 望		若干名
109	G15H331001	生活と光の作用 1	1	T1	木5	椎名 達雄		若干名
110	G15H332001	生活と光の作用 2	1	T2	木5	椎名 達雄		若干名
111	G15H341004	物理学入門(4)(展開)	2	T4-5	火1	三野 弘文		若干名

番号	講義コード	科目名	単位	期別	曜日 時限	主担当教員	大学設置基準第 25 条第 2 項等で 規定する遠隔授業により実施する 授業科目 (※)	備考 (受け入 れ可能人数)
112	G15H342001	物理学入門 1 (展開)	1	T1	水2	加藤 徹也		若干名
113	G15H343001	物理学入門 2 (展開)	1	T2	水2	加藤 徹也		若干名
114	G15H351001	実験で体験する物理 A	1	T4	月5	三野 弘文		若干名
115	G15H352001	実験で体験する物理 B	1	T5	月5	三野 弘文		若干名
116	G15K303001	大学とは何かを考える 1	1	T5	木5	白川 優治		若干名
117	G15K305001	スポーツとの出会い 1	1	T4	金2	谷藤 千香		若干名
118	G15K306001	スポーツとの出会い 2	1	T5	金2	谷藤 千香		若干名
119	G15K325001	非営利市民事業と協同組合 A	1	T1	金4	崎山 直樹		若干名
120	G15K326001	非営利市民事業と協同組合 B	1	T2	金4	崎山 直樹		若干名
121	G15K412001	学生ボランティア実践入門	1	T4	火3	佐々木 綾子		若干名
122	G15K425001	実務家によるキャリア・デザイン入門C	1	T4	火4	岡山 咲子		若干名
123	G15K446001	地方創生の実務現場 B	1	T2	金4	小川 真実		若干名
124	G15K461001	政策ディベートと交渉論の基礎	1	T5	火4	大西 好宣		若干名
125	G15K471001	プレゼンテーション入門：バトルを楽しむ	1	T4	火4	大西 好宣		若干名
126	G15K491001	キャンパスライフとソーシャルラーニング	1	T1	月2	下永田 修二		若干名
127	G15K512001	地域で仕事をおこす・入門篇	1	T2	火3	崎山 直樹		若干名
128	G15K541001	金融リテラシー	1	T4	木4	崎山 直樹		若干名
129	G15N154001	近代日本社会とアジア留学生たち	1	T1	金3	見城 梯治		若干名
130	G15N402001	デザイン科学 1	1	T1	木1	小野 健太		若干名
131	G15N403001	デザイン科学 2	1	T2	木1	小野 健太		若干名
132	G15N803001	日本イメージの交錯 A	1	T1	金1	見城 梯治		若干名
133	G15N804001	日本イメージの交錯 B	1	T2	金1	見城 梯治		若干名
134	G15N805001	日本アジア文化交流史 A	1	T4	金1	見城 梯治		若干名
135	G15N806001	日本アジア文化交流史 B	1	T5	金1	見城 梯治		若干名
136	G15N872001	世界の中の日本、日本の中の世界	1	T5	月2	崎山 直樹		若干名
137	G15N873001	日本人の国際倫理	1	T2	月3	崎山 直樹		若干名
138	G15N903001	ラグビーを知る	1	T1	火4	大西 好宣		若干名
139	G15N914001	海外留学を研究する	1	T2	火3	大西 好宣		若干名
140	G15N921001	社会運動の世界史	1	T4	月3	崎山 直樹		若干名
141	G15N936001	年少者の日本語	1	T4	金2	本間 祥子		若干名
142	G15N938001	対日投資の現状と外資系企業の実例	1	T1	水5	崎山 直樹		若干名
143	G15N950001	駐日外交官から直接学ぶ中南米の国々	1	T1	木4	小泉 佳右		若干名
144	G15P001001	情報セキュリティ分析 (入門)	1	T2	木5	今泉 貴史		若干名
145	G15R032001	環境マネジメントシステム実習 I A	1	T1	火6	岡山 咲子		若干名
146	G15R033001	環境マネジメントシステム実習 I B	1	T4	火6	岡山 咲子		若干名
147	G15U102001	スポーツ・マネジメント	1	T2	火4	下永田 修二		若干名
148	G15U115001	地域を共につくる	1	T1	火2	佐藤 公信		若干名
149	G15U119001	共生環境のまちづくり 1	1	T1	水4	樋口 孝之		若干名
150	G15U251001	地方創生を語る	1	T5	火4	田島 翔太		若干名
151	G15U271001	地域ベンチャー起業論	1	T1	火4	田島 翔太		若干名
152	G15U321001	世界遺産のまちから学ぶ～佐原の大衆とまちづくり (千葉県香取市)～	1	T2	水2	関谷 昇		若干名
153	G15U371001	地方創生時代の地域イノベーション	1	T4	火4	田島 翔太		若干名
154	G15U404001	スポーツ・ビジネス	1	T2	水2	下永田 修二		若干名
155	G15X054001	手話を学ぼう 1	1	T1	木3	三野 弘文		若干名
156	G15X055001	手話を学ぼう 2	1	T2	木3	三野 弘文		若干名
157	G15X161001	文献との対話	1	T4	月2	竹内 比呂也		若干名
158	G171110001	微積分学 A (1)	2	T1-2	水3	白川 健		若干名
159	G171120003	線形代数学 A (3)	2	T4-5	火4	磯部 遼太郎		若干名
160	G171211001	微積分学 B 1 (1)	2	T1-2	金2	二木 昌宏		若干名
161	G171211007	微積分学 B 1 (7)	2	T1-2	金3	二木 昌宏		若干名
162	G171211010	微積分学 B 1 (10)	2	T1-2	金3	佐藤 謙太		若干名
163	G171211011	微積分学 B 1 (11)	2	T1-2	金2	梶浦 宏成		若干名
164	G171212007	微積分学 B 2 (7)	2	T4-5	金3	今井 淳		若干名
165	G171212010	微積分学 B 2 (10)	2	T4-5	金3	小寺 諒介		若干名
166	G171212011	微積分学 B 2 (11)	2	T4-5	金2	佐々木 浩宣		若干名
167	G171212012	微積分学 B 2 (12)	2	T4-5	火3	井上 玲		若干名

番号	講義コード	科目名	単位	期別	曜日 時限	主担当教員	大学設置基準第 25 条第 2 項等で 規定する遠隔授業により実施する 授業科目 (※)	備考 (受け入 れ可能人数)
168	G171221001	微積分学演習 B 1 (1)	1	T1-2	火3	原田 幸博		若干名
169	G171221008	微積分学演習 B 1 (8)	1	T1-2	水4	松田 茂樹		若干名
170	G171221009	微積分学演習 B 1 (9)	1	T1-2	火3	蔡 高創		若干名
171	G171221010	微積分学演習 B 1 (10)	1	T1-2	木2	佐藤 謙太		若干名
172	G171222001	微積分学演習 B 2 (1)	1	T4-5	火3	原田 幸博		若干名
173	G171222005	微積分学演習 B 2 (5)	1	T4-5	木2	松田 茂樹		若干名
174	G171222008	微積分学演習 B 2 (8)	1	T4-5	水4	安藤 浩志		若干名
175	G171222010	微積分学演習 B 2 (10)	1	T4-5	木2	石田 祥子		若干名
176	G171231002	線形代数学 B 1 (2)	2	T1-2	木2	梶浦 宏成		若干名
177	G171231007	線形代数学 B 1 (7)	2	T1-2	水3	今井 淳		若干名
178	G171231011	線形代数学 B 1 (11)	2	T1-2	月2	大坪 紀之		若干名
179	G171232007	線形代数学 B 2 (7)	2	T4-5	水3	大坪 紀之		若干名
180	G171232010	線形代数学 B 2 (10)	2	T4-5	水3	二木 昌宏		若干名
181	G171232011	線形代数学 B 2 (11)	2	T4-5	木2	佐藤 謙太		若干名
182	G171241001	線形代数学演習 B 1 (1)	1	T1-2	火3	原田 幸博		若干名
183	G171241003	線形代数学演習 B 1 (3)	1	T1-2	木2	藤原 大悟		若干名
184	G171241005	線形代数学演習 B 1 (5)	1	T1-2	木2	山形 遼介		若干名
185	G171241007	線形代数学演習 B 1 (7)	1	T1-2	木2	矢田 紀子		若干名
186	G171241009	線形代数学演習 B 1 (9)	1	T1-2	火3	蔡 高創		若干名
187	G171241010	線形代数学演習 B 1 (10)	1	T1-2	木2	佐藤 謙太		若干名
188	G171242001	線形代数学演習 B 2 (1)	1	T4-5	火3	原田 幸博		若干名
189	G171242003	線形代数学演習 B 2 (3)	1	T4-5	木2	藤原 大悟		若干名
190	G171242005	線形代数学演習 B 2 (5)	1	T4-5	木2	山形 遼介		若干名
191	G171242008	線形代数学演習 B 2 (8)	1	T4-5	水4	安藤 浩志		若干名
192	G171242010	線形代数学演習 B 2 (10)	1	T4-5	木2	石田 祥子		若干名
193	G171310001	統計学 A (1)	2	T1-2	月3	井上 玲		若干名
194	G171310002	統計学 A (2)	2	T1-2	水3	奥戸 道子		若干名
195	G171310003	統計学 A (3)	2	T1-2	木2	丸山 祐造		若干名
196	G171310004	統計学 A (4)	2	T4-5	月3	奥戸 道子		若干名
197	G171310005	統計学 A (5)	2	T4-5	火4	奥戸 道子		若干名
198	G171310006	統計学 A (6)	2	T4-5	木2	今村 卓史		若干名
199	G171332003	統計学 B 1 (3)	2	T1-2	水4	井上 玲		若干名
200	G171333003	統計学 B 2 (3)	2	T4-5	水4	丸山 祐造		若干名
201	G171510001	複素解析(1)	2	T1-2	火2	岡田 靖則		若干名
202	G171510002	複素解析(2)	2	T1-2	火3	廣惠 一希		若干名
203	G171510003	複素解析(3)	2	T1-2	火4	廣惠 一希		若干名
204	G171530001	微分方程式(1)	2	T1-2	月2	佐々木 浩宣		若干名
205	G171530003	微分方程式(3)	2	T1-2	水3	石田 祥子		若干名
206	G171530004	微分方程式(4)	2	T1-2	水3	前田 昌也		若干名
207	G171530005	微分方程式(5)	2	T1-2	水3	山田 泰弘		若干名
208	G173401003	物理学入門(3) (専門基)	2	T1-2	水2	加藤 徹也		若干名
209	G173401004	物理学入門(4) (専門基)	2	T4-5	火1	三野 弘文		若干名
210	G173411001	力学入門(1)	2	T1-2	木4	藤本 茂雄		若干名
211	G173421001	力学基礎 1 (1)	2	T1-2	火1	星野 晋太郎		若干名
212	G173421004	力学基礎 1 (4)	2	T1-2	水2	劉 浩		若干名
213	G173421005	力学基礎 1 (5)	2	T1-2	水2	宮本 克彦		若干名
214	G173421008	力学基礎 1 (8)	2	T1-2	金1	坪田 健一		若干名
215	G173431001	力学基礎 2 (1)	2	T4-5	月2	北畑 裕之		若干名
216	G173431004	力学基礎 2 (4)	2	T4-5	水2	田中学		若干名
217	G173431005	力学基礎 2 (5)	2	T4-5	水2	山田 豊和		若干名
218	G173441001	電磁気学入門	2	T4-5	木2	藤本 茂雄		若干名
219	G173451002	電磁気学基礎 1 (2)	2	T4-5	月5	齊藤 一幸		若干名
220	G173451003	電磁気学基礎 1 (3)	2	T4-5	金4	久徳 浩太郎		若干名
221	G173451004	電磁気学基礎 1 (4)	2	T4-5	木1	中田 裕之		若干名
222	G173451005	電磁気学基礎 1 (5)	2	T4-5	木1	小室 信喜		若干名
223	G173451007	電磁気学基礎 1 (7)	2	T4-5	金1	椎名 達雄		若干名

番号	講義コード	科目名	単位	期別	曜日 時限	主担当教員	大学設置基準第 25 条第 2 項等で 規定する遠隔授業により実施する 授業科目 (※)	備考 (受け入 れ可能人数)
224	G173451008	電磁気学基礎 1 (8)	2	T4-5	金1	山本 和貫		若干名
225	G173461001	電磁気学基礎 2 (1)	2	T1-2	月3	齊藤 一幸		若干名
226	G173461002	電磁気学基礎 2 (2)	2	T1-2	月3	宮前 孝行		若干名
227	G173461003	電磁気学基礎 2 (3)	2	T1-2	月1	山田 泰裕		若干名
228	G173471001	熱・統計力学基礎(1)	2	T4-5	火2	中村 将志		若干名
229	G173471002	熱・統計力学基礎(2)	2	T4-5	木3	大濱 哲夫		若干名
230	G173471003	熱・統計力学基礎(3)	2	T4-5	木2	平原 佳織		若干名
231	G173481001	量子力学基礎(1)	2	T4-5	月4	中田 仁		若干名
232	G173481002	量子力学基礎(2)	2	T4-5	月5	吉田 弘幸		若干名
233	G173501001	力学基礎演習 1 (1)	1	T1-2	水5	大塚 翔		若干名
234	G173501003	力学基礎演習 1 (3)	1	T1-2	水5	太田 匡則		若干名
235	G173501004	力学基礎演習 1 (4)	1	T1-2	水5	宮本 克彦		若干名
236	G173501005	力学基礎演習 1 (5)	1	T1-2	火5	清水 信宏		若干名
237	G173501006	力学基礎演習 1 (6)	1	T1-2	木3	川村 和也		若干名
238	G173501007	力学基礎演習 1 (7)	1	T1-2	金3	丸山 喜久		若干名
239	G173511001	力学基礎演習 2 (1)	1	T4-5	月5	丸山 喜久		若干名
240	G173511003	力学基礎演習 2 (3)	1	T4-5	水5	中田 敏是		若干名
241	G173511004	力学基礎演習 2 (4)	1	T4-5	水5	山田 豊和		若干名
242	G173511005	力学基礎演習 2 (5)	1	T4-5	水5	大塚 翔		若干名
243	G173511006	力学基礎演習 2 (6)	1	T4-5	月3	北原 鉄平		若干名
244	G173531001	電磁気学基礎演習 1 (1)	1	T4-5	金3	大里 健		若干名
245	G173531002	電磁気学基礎演習 1 (2)	1	T4-5	月5	山本 和貫		若干名
246	G173531005	電磁気学基礎演習 1 (5)	1	T4-5	水5	椎名 達雄		若干名
247	G173531006	電磁気学基礎演習 1 (6)	1	T4-5	水5	中田 裕之		若干名
248	G173531007	電磁気学基礎演習 1 (7)	1	T4-5	水5	小室 信喜		若干名
249	G173541001	電磁気学基礎演習 2 (1)	1	T1-2	月4	宮前 孝行		若干名
250	G173541002	電磁気学基礎演習 2 (2)	1	T1-2	水4	岩切 渉		若干名
251	G173551001	熱・統計力学基礎演習(1)	1	T4-5	木4	大濱 哲夫		若干名
252	G173551002	熱・統計力学基礎演習(2)	1	T4-5	木1	平原 佳織		若干名
253	G173551003	熱・統計力学基礎演習(3)	1	T4-5	木1	原 孝佳		若干名
254	G173561001	量子力学基礎演習(1)	1	T4-5	月5	山田 篤志		若干名
255	G173561002	量子力学基礎演習(2)	1	T4-5	木1	吉田 弘幸		若干名
256	G175100001	化学(1)(専門基)	2	T4-5	金2	勝田 正一		若干名
257	G175100002	化学(2)(専門基)	2	T1-2	金3	城田 秀明		若干名
258	G175321001	物理化学 A (専門基)	2	T1-2	水1	森田 剛		若干名
259	G175322001	物理化学 B (専門基)	2	T4-5	水1	大場 友則		若干名
260	G175333001	基礎化学	2	T4-5	火2	原田 慎吾		若干名
261	G175334001	化学基礎	2	T1-2	火4	土肥 博史		若干名
262	G177160001	生命科学入門	2	T4-5	火1	寺崎 朝子		若干名
263	G177221001	医系生物学	2	T1-2	木3	安西 尚彦		若干名
264	G179313001	地学概論 A	2	T1-2	木1	泉 賢太郎		若干名
265	G179314001	地学概論 B	2	T4-5	木1	津村 紀子		若干名
266	G179511001	地球科学入門 A	2	T1-2	月3	中西 正男		若干名
267	G179521001	地球科学入門 B	2	T4-5	月3	戸丸 仁		若干名
268	G179920001	地学基礎実験 B (3) (後 2)	1	T4-5	火345	古川 登		若干名
269	G179920004	地学基礎実験 B (2) (後 1)	1	T4-5	水345	古川 登		若干名

本書記載内容は、予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※主としてメディア授業(オンデマンド型または同時双方向型)により実施される授業科目を指します。

詳細は千葉大学シラバス(<https://www.chiba-u.ac.jp/academics/course/index.html>)を参照ください。

令和8年度放送大学に対する開放科目一覧(専門教育科目)

No	開放学部	開放科目	単位数	期別	曜日	時限	担当教員	受け入れ人数	科目の概要	大学設置基準第25条第2項等で規定する遠隔授業により実施する授業科目(※)	備考
1	文学部	社会調査概説a	2	T1-2(前期)	金	2	吉岡 洋介	若干名	実証的な社会学の研究に欠かすことのできない社会調査について、基礎的な知識や調査事例を幅広く講義する。		
2	文学部	アイヌ語a	2	T1-2(前期)	金	2	阪口 諒	若干名	日本固有の言語のひとつであるアイヌ語について発音・文法の基礎を身につけ、簡単な文章を読んで理解し、聞き取れるようにする。実際の口承文芸をテキストに使い、音声・映像資料を利用してアイヌ人の伝統的世界観・かつての生活文化も同時に学んでいく。		
3	文学部	英語圏文化論基礎b	2	T4-5(後期)	火	1	舘 美貴子	若干名	アメリカ文化やアメリカ文学を学ぶうえで重要なテーマ別にアメリカの歴史を概説する。	○	
4	文学部	アメリカ文学史a	2	T1-2(前期)	水	2	山本 裕子	若干名	アメリカ19世紀における文学の歴史を、その背景となる社会や文化の流れとあわせて概説する。伝統的な文学史の範疇に収まらない少数民族や女性による作品も、できるだけ多く紹介したいと考えている。背景知識を習得するだけでなく、個別作品の有名なパッセージの読解なども適宜補足的に行う。		
5	文学部	アメリカ文学史b	2	T4-5(後期)	水	2	山本 裕子	若干名	アメリカ20世紀における文学の歴史を、その背景となる社会や文化の流れとあわせて概説する。伝統的な文学史の範疇に収まらない少数民族や女性による作品も、できるだけ多く紹介したいと考えている。背景知識を習得するだけでなく、個別作品の有名なパッセージの読解なども適宜補足的に行う。		
6	文学部	英語論文演習a	2	T1-2(前期)	金	3	Andrew Rayment	若干名	This is the sixth of a six-course sequence in academic writing in English. The course focuses on thesis writing. Students will prepare a research plan for their sannenji-ronbun or sotsuron.		
7	法政経学部	政治哲学 I	2	T1-2	火	2	小林 正弥	若干名	世界的に大きな話題となったマイケル・サンデルのハーバード白熱教室を念頭に、日本の事例をとりあげながら、「正義」についての3つの考え方を理解し、議論できるようにする。時に音声講義や授業のビデオなどを聴講ないし視聴するとともに、マイケル・サンデル『ハーバード白熱教室 講義録+東大特別授業(上・下)』(早川書房、2010年)などの指定された箇所を読む。新型コロナウイルス問題をはじめとする時事的問題についてのモラル・ジレンマや論点について考えて、提出する。この基礎の上で、科学的なポジティブ心理学やウェルビーイングの考え方を紹介し、政治哲学とポジティブ心理学の双方を架橋・統合する考え方を説明し、モデル・ジレンマや論点についての考察を深める。	○	
8	法政経学部	政治哲学 II	2	T4-5	火	2	小林 正弥	若干名	世界的に大きな話題となったマイケル・サンデルのハーバード白熱教室を念頭に、日本の事例をとりあげながら、「正義」についての3つの考え方を理解し、議論できるようにする。時に音声講義や授業のビデオなどを聴講ないし視聴するとともに、マイケル・サンデル『ハーバード白熱教室 講義録+東大特別授業(上・下)』(早川書房、2010年)などの指定された箇所を読む。新型コロナウイルス問題をはじめとする時事的問題についてのモラル・ジレンマや論点について考えて、提出する。この基礎の上で、科学的なポジティブ心理学やウェルビーイングの考え方を紹介し、政治哲学とポジティブ心理学の双方を架橋・統合する考え方として、コミュニタリアニズムを中心にしつつ構築される新しい統合的な政治哲学を説明し、その観点から権力・自由、正義・公正など政治の基礎概念や経済・福祉・環境・平和など公共政策について、多層的・多次的に考察する。	○	
9	法政経学部	財務諸表論 I	2	T1	月	3,4	小川 真実	若干名	本講義では、複式簿記等の手法によって、企業の経営成果と財政状態を作成し、財務諸表を通じて企業外部の利害関係者に報告する財務会計の基礎理論や実務の動向について解説する。いまや財務会計は投資家や債権者等が企業評価を行うのに必要な情報を開示するとともに、国内及び国際社会における経済秩序の維持にとって不可欠な制度的基盤としての役割を果たしている。この講義では、財務会計の基礎をなす概念的かつ制度的フレームワークを理解するとともに、会計の中心課題である利益計算と資産・負債評価のメカニズムについて学んでいく。財務諸表論 I では、主に、財務会計の基礎概念・基本原則を紹介したうえで、企業の資源フローの会計問題を検討する。		2年次以降 ・簿記の知識がどうしても必要になるため、「簿記原理 I・II」を少なくとも同時履修であること。 ・履修制限を課す場合は簿記原理 I 及び簿記原理 II の履修の有無で判断する。他学部中等も同様とする。
10	法政経学部	財務諸表論 II	2	T2	月	3,4	小川 真実	若干名	本講義では、財務諸表論 I と同様に、複式簿記等の手法によって、企業の経営成果と財政状態を作成し、財務諸表を通じて企業外部の利害関係者に報告する財務会計の基礎理論や実務の動向について解説する。財務諸表論 II では主に、貸借対照表の資産、負債及び純資産など、企業の資源ストックの会計問題を検討する。また、こんにちの経済社会では企業グループでの連携した活動が中心となっているため、連結財務諸表の基本的な考え方や仕組みについても講義する。さらに、会計情報の利活用の形態として、企業価値評価のフレームワークも解説する。		2年次以降 ・簿記の知識がどうしても必要になるため、「簿記原理 I・II」を少なくとも同時履修であること。 ・経営学系の授業科目を履修していると理解が容易に進むことでしょう。

令和8年度放送大学に対する開放科目一覧(専門教育科目)

No	開放学部	開放科目	単位数	期別	曜日	時限	担当教員	受け入れ人数	科目の概要	大学設置基準第25条第2項等で規定する遠隔授業により実施する授業科目(※)	備考
11	教育学部	教育心理学(他学部)	2	T4-5	木	3	岩田 美保、原 英樹	若干名	はじめに教育心理学について、発達と学習の概念を中心に概観しながら講義する。そして、発達と学習との基本的なメカニズムについて、行動か認知かといったいくつかの視点を提示しその理解を深める。さらに、発達については、幼児期から青年期に至る各段階での発達について、認知、言語、社会性、コミュニケーション、対人関係などの各側面から検討する。また、学習については、教授・学習過程の諸問題をとりあげ、それに加え、学習を支える動機づけや、学業に関する不適応や意欲低下、クラスの目標、人間関係と動機づけなどの問題にも触れてゆく。		
12	教育学部	教育心理学(他学部)	2	T1-2	木	5	大芦 治、伊藤 嘉奈子	若干名	はじめに教育心理学について、発達と学習の概念を中心に概観しながら講義する。そして、発達と学習との基本的なメカニズムについて、行動か認知かといったいくつかの視点を提示しその理解を深める。さらに、発達については、幼児期から青年期に至る各段階での発達について、認知、言語、社会性、コミュニケーション、対人関係などの各側面から検討する。また、学習については、教授・学習過程の諸問題をとりあげ、それに加え、動機づけや学級集団、児童・生徒と教師の人間関係などにも触れていく。		
13	教育学部	物理学実験基礎	1	T1-2	水	3,4,5	加藤 徹也、未 定	若干名	物理学実験の基礎的な測定とデータ処理方法を習得する。計測、熱、電気、力、音に関するテーマを扱う。		
14	教育学部	物理学実験展開	1	T2	水	3,4,5	加藤 徹也、松澤 孝幸	若干名	物理学実験の一般的な測定とデータ処理方法を習得する。振動、交流回路、光、LEDを用いたエネルギー変換等に関するテーマを扱う。		
15	理学部	特殊相対論	2	T1-2	月	3	石原 安野	若干名	特殊相対性理論の基礎を解説する。相対性理論は量子力学と共に、20世紀以降の現代物理学の基礎を担う重要な理論である。これまで学んできた力学や電磁気学を、特殊相対性理論の観点から再構築することで、一般相対性理論や場の量子論といった理論へと発展させるための準備を行う。時間・空間に対する考え方、質量とエネルギーの等価性、電磁気学の相対論的記述といった理論が形成される論理的過程を中心に基本的概念の習得をする。また、特殊相対論的効果が表れるのは速度が真空における光速に近い場合である。このような条件が成り立つのは、原子構成粒子や素粒子、そして宇宙における高エネルギー現象である。高エネルギー実験や天文学における相対論的現象を通し、具体的な応用例を理解する。		
16	理学部	素粒子物理学	2	T4-5	月	3	吉田 滋	若干名	素粒子物理学に限定せず、通常の講義に載りにくい、研究の現場のよまやま話を陳述します。一部は私自身の体験に基づく実話です。		
17	理学部	原子核物理学	2	T4-5	水	3	中田 仁	若干名	量子力学の学習内容をを基にして、原子核の構造についての基礎的知識から最近の話題までを講義する。主な内容は次の通りである:量子力学の復習, 原子核における密度とエネルギーの飽和性, 原子核の殻構造, 核力, 不安定核の構造に関する諸問題。		
18	理学部	宇宙物理学A	2	T4-5	水	4	久徳 浩太郎	若干名	宇宙物理学は、遠く離れた天体や宇宙そのものを、物理に基づいて観測し、物理に基づいて理解する学問である。天文学も、化学や生物など狭義の物理を離れた知見も重要となりつつ、大筋では宇宙物理学と重なる。この講義では学部で学んだ様々な物理を横断的に用いて、星や銀河を代表的な対象とする天体物理学の基礎を学ぶ。		
19	理学部	物性物理学A	2	T1-2	木	3	大濱 哲夫	若干名	固体や液体など凝縮系の性質を扱う物性物理学の基礎について、結晶の性質を中心に概説する。		
20	理学部	物性物理学B	1	T4	水	2	山田 泰裕	若干名	結晶中の周期ポテンシャルの下での電子のBloch状態とエネルギーバンド構造について学ぶ。また、結晶の電氣的・光学的特性がどのようにバンド構造と関わっているかを学ぶ。トランジスタやレーザとして、電子デバイスや光デバイスに応用されている半導体の電氣的特性、光学的特性を第一原理から理解し、様々な物理現象やその幅広い応用を理解するための基礎を培う。		
21	理学部	物性物理学C	1	T1	火	4	北畑 裕之	若干名	平衡系の熱力学、統計力学の拡張として、平衡系からわずかにずれた線形非平衡領域で成り立つ理論について学ぶ。次に、平衡系から大きくずれた非線形非平衡領域ではじめて起こる秩序構造に関して、どのような取扱いが可能であるかを学ぶ。		

令和8年度放送大学に対する開放科目一覧(専門教育科目)

No	開放学部	開放科目	単位数	期別	曜日	時限	担当教員	受け入れ人数	科目の概要	大学設置基準第25条第2項等で規定する遠隔授業により実施する授業科目(※)	備考
22	理学部	物性物理学D	1	T5	水	2	深澤 英人	若干名	物質の磁気的な性質について、原子から初めて局在状態、遍歴状態における磁性に関して学ぶ。また、超伝導の基礎について学ぶ。		
23	理学部	量子化学 I-1	1	T4	月	4	小西 健久	若干名	量子力学における観測量、波動関数の概念を解説しつつ、いくつかの簡単な例についてシュレーディンガー方程式を解く。可能な限り電子、分子の振る舞いに結びつけて解説する。		
24	理学部	量子化学 I-2	1	T5	月	4	小西 健久	若干名	量子化学I-1の続きとして、並進、振動、回転運動を量子力学的に扱う。		「量子化学 I-1」を併せて履修することを受講の条件とする
25	理学部	化学統計熱力学 I-1	1	T1	水	2	城田 秀明	若干名	量子論の導入により、ミクロな系の運動(並進、振動、回転)を量子力学的に理解する。 1回 閉軌道近似 質点および剛体の古典力学的取り扱い ポテンシャルエネルギー 2回 波動、マックスウェル-ボルツマンの速度分布則、分子運動 3回 分子運動(並進、回転、振動)の古典的取り扱い 4回 閉軌道(オンデマンド型)授業 分子運動演習問題 5回 量子論の起源(エネルギーの量子化、波-粒子二重性) 6回 量子論の起源(分光学)、分子運動(並進、回転)の量子論的取り扱い 7回 分子運動(回転、振動)の量子論的取り扱い 8回 試験		
26	理学部	化学統計熱力学 I-2	1	T2	水	2	城田 秀明	若干名	ボルツマン分布、分子分配関数を学び、分子運動を量子統計的に取り扱う。 1回 ボルツマン分布、ラグランジュの未定乗数法 2回 閉軌道近似の未定乗数法、分子分配関数 3回 分子分配関数、分子のエネルギー 4回 分子のエネルギー 5回 ミクロカノニカルアンサンブル、カノニカルアンサンブル 6回 内部エネルギーとエントロピー 7回 内部エネルギーとエントロピー、熱力学関数の導出 8回 期末試験		「化学統計熱力学 I-1」を併せて履修することを受講の条件とする
27	理学部	量子化学 II-1	1	T1	月	3	小西 健久	若干名	量子化学I-1、I-2の続きとして、振動、回転運動の量子力学的扱いを述べ、続いて水素型原子の量子力学的扱いを述べる。		
28	理学部	量子化学 II-2	1	T2	月	3	小西 健久	若干名	電子のスピン、多電子系の波動関数について解説し、多電子原子の電子状態の近似的取り扱いの概略を説明した後、原子スペクトルについて概説する。		「量子化学 II-1」を併せて履修することを受講の条件とする
29	理学部	物質結合論-1	1	T4	月	2	二木 かおり	若干名	物質の結合、バンド理論、摂動論などを学ぶ		
30	理学部	物質結合論-2	1	T5	月	2	二木 かおり	若干名	摂動論について理解し、多電子系への展開を知る		「物質結合論-1」を併せて履修することを受講の条件とする
31	理学部	有機元素化学-1	1	T4	月	1	荒井 孝義	若干名	有機化合物の物性および反応性を元素の特性によって分類し、詳細に議論する。 有機元素化学-1では、第2周期の元素、アルカリ金属、有機金属試薬の化学について学ぶ。		

令和8年度放送大学に対する開放科目一覧(専門教育科目)

No	開放学部	開放科目	単位数	期別	曜日	時限	担当教員	受け入れ人数	科目の概要	大学設置基準第25条第2項等で規定する遠隔授業により実施する授業科目(※)	備考
32	理学部	有機元素化学-2	1	T5	月	1	荒井 孝義	若干名	有機化合物の物性および反応性を元素の特性によって分類し、詳細に議論する。 有機元素化学-2では、第3周期以降のヘテロ元素や遷移金属有機化学について学ぶ。		「有機元素化学-1」を併せて履修することを受講の条件とする
33	理学部	酵素化学-1	1	T4	木	2	米澤 直人	若干名	酵素の特性(基質特異性、補因子、酵素活性の調節)、酵素反応速度論、酵素反応の阻害及び活性化、酵素の触媒機構について基本的内容を解説する。		
34	理学部	酵素化学-2	1	T5	木	2	米澤 直人	若干名	酵素の触媒活性及び特異性の発現機構を酵素の構造と機能の相関に重点をおいて概説し、さらに、酵素による代謝調節及び酵素の利用について学ぶ。		
35	理学部	免疫学	2	T4-T5	火	1	後藤 義幸	若干名	免疫システムは、自己と非自己を識別し、非自己を排除するという生体防御応答である。本講義では、自己と非自己の識別機構や無数に存在する抗原に対応する仕組みなど、免疫システムの基本原理を分子・細胞・個体レベルで理解する。さらに、個体の恒常性維持における免疫の重要性や、免疫の過剰応答、破綻によって引き起こされる疾患、そして免疫システムを活用した治療法を含め、免疫の生理的および病理的側面の機序について包括的に学ぶことを目的とする。		
36	工学部	有機化学I	2	T4-5	水	2	松本 祥治	若干名	有機化学の基礎となる知識、理解力、考える力を修得する。有機分子の構造や性質、命名法、反応の基本を理解するための講義を行う。有機化学I-IVでは、教科書「クライン 有機化学 上、下」に沿って有機化学の本質を学ぶ。		共生応用化学コース T01V800201
37	工学部	化学工学基礎	2	T4-5	木	2	佐藤 智司	若干名	本講義では、物質収支・エネルギー収支、流動と流体輸送、伝熱および熱交換装置、蒸留についての化学工学の基礎事項について解説し、演習を行う。教科書には朝倉書店「新版 化学工学の基礎」に沿って講義する。		共生応用化学コース T01V802801
38	園芸学部	土壌学	2	T4	月木	1	八島 未和	若干名	土壌は地球にしか存在しない貴重な資源であり、その生成には長い時間を要する。土壌を経由して生物に必要な元素の多くが地球上を循環しており、作物生産と環境保全に不可欠である。土壌の持つ物理的・化学的・生物的性質を理解し、その利用と保全を講義する。		
39	園芸学部	遺伝学	2	T2	月木	1	佐々 英徳	若干名	古典遺伝学から最新の分子遺伝学までを講義する。		
40	園芸学部	育種学	2	T1	月木	1	南川 舞	若干名	栽培植物の遺伝的特性を改良することの重要性、その方法、得られた成果と今後の課題などについて、解説する。育種への応用が期待される、最近の遺伝学、分子生物学研究の成果についても言及する。	○	
41	園芸学部	昆虫学	2	T2	月木	2	野村 昌史	若干名	数の上では地球上もっとも繁栄している生物=昆虫類について、その多様なグループの紹介を行う。そして彼らの現在の繁栄を支える、体の構造・発育や変態・生活史や行動などを学ぶことで、昆虫の様々な適応戦略を理解する。		
42	園芸学部	作物学総論	2	T5	月木	2	深野 祐也	若干名	作物を中心に、人間の歴史、社会、環境への影響を広く概説する。		
43	園芸学部	生物化学	2	T5	水	1,2	児玉 浩明	若干名	講義の前半は生体物質の構造、機能について説明する。中盤では、反応の場である細胞内の構造と代謝の関連について理解を深め、終盤においては反応を進めるのに必要なエネルギーを細胞がどのように得て、代謝に用いているのかについて、解説する。	○	

令和8年度放送大学に対する開放科目一覧(専門教育科目)

No	開放学部	開放科目	単位数	期別	曜日	時限	担当教員	受け入れ人数	科目の概要	大学設置基準第25条第2項等で規定する遠隔授業により実施する授業科目(※)	備考
44	園芸学部	分子生物学	2	T4	水	1,2	華岡 光正	若干名	地球上の全ての生物に共通する生命現象は、核酸(DNA・RNA)やタンパク質といった分子の挙動によって説明することができる。本講義では、これら生体分子の構造・機能や、その複製や維持のしくみについて解説する。さらに、ゲノム・遺伝子の多様性やDNAの損傷と修復、遺伝子組換えの仕組みなどについても紹介する。		
45	園芸学部	分子生体機能学	2	T1	木	1,2	華岡 光正	若干名	「分子生物学」に引き続き、遺伝子の発現過程やその制御、また分子生物学の研究手法やゲノム解析などについて取り扱い、生体における多様な分子機能について、実際の研究例も含め幅広く学習する。		
46	園芸学部	基礎微生物学	2	T1-2	木	3	相馬 亜希子	若干名	本授業では微生物学の歴史について俯瞰した後、微生物の構造、栄養代謝(異化と同化)、生育、エネルギー代謝、分子生物学、遺伝子発現制御、遺伝学、遺伝子工学、ゲノム、など微生物に関する基礎的な知見について概要を解説する。		
47	園芸学部	環境文化史学	2	T4-5	水	5	阿部 一	若干名	環境文化史学は、環境と文化の関係の歴史的展開を扱う学問領域である。この講義では、環境認知論・風景論を手掛かりとして、ヨーロッパ、中国、日本における「環境—文化」関係の多様性と特徴について学び、それをもたらした要因について風土論的観点から考察する。	○	隔年開講科目
48	園芸学部	農業経済学概論	2	T1-2	水	2	櫻井 清一	若干名	食料・農業・農村と農業を取り巻く関連産業を解明する経済学の領域と役割について学習し、基礎的な概念および重要な課題についてその背景と課題解決の方法についての理解を深め、経済学的な思考法の基礎を習得する。		
49	園芸学部	農業と福祉の連携を考える	2	T3-5	隔土		古谷 勝則	若干名	この実習・演習は、農業と福祉の双方の課題解決を図り、社会のウェルビーイングの向上を目指す取り組みを、講義による解説と演習、実習をセットにして学ぶ。		
50	薬学部	有機化学 I	2	T1-2	水	1	山次 健三 他	若干名	医薬品の本体や生物活性物質のみならず、生体を構成している成分の大半が有機化合物である。これら有機化合物の構造・反応性並びに合成法を学び理解する学問が有機化学である。有機化学の習得は医薬品開発研究にとって必須であるばかりでなく、医薬品の物性さらには生命科学を理解する上でも大変重要である。分子の構造・性質・反応性を関連付けながら解説する。授業は教科書にしたがい、要点、ポイントなどの説明はスライドを使い解説する。あらかじめ教科書および公開するスライド資料にて予習することが必須である。各講義終了後にオンライン小テストを課す。		
51	薬学部	生物化学 I	2	T4-5	月	2	山崎 真巳 他	若干名	生物化学は生命現象を分子の挙動として解明することを目的とした学問であり、生命現象の最も重要な基礎となっている。本講義は、薬学を含め広く生命科学に属する学問を学ぶための基礎教育として開講され、エネルギー変換と貯蔵について、代謝の基本概念と設計、解糖と糖新生、クエン酸回路、酸化的リン酸化などの内容を講義する。		
52	薬学部	物理化学 I	2	T4-5	水	1	西田 紀貴 他	若干名	生体物質から医薬品まですべての物質は原子からできている。原子が化学結合で結びつき、分子になると電子が関与する。また、分子内の局所的な電子密度の違いは分子の反応性を支配する。電子の性質を理解し、生体物質を考察するために、電子や分子などのミクロな世界の物理法則を支配する量子力学について講義する。量子力学の基本方程式であるシュレディンガー方程式を用いることで、原子の構造・原子軌道の電子配置・元素における周期性などを理解できることを説明する。		
53	薬学部	免疫学I	1	T5	水	2	川島 博人	若干名	生体にとって異物である微生物・ウイルス・真菌・寄生虫などの襲撃に対して、生体は免疫系という高次の統合的な防御システムで対応することを概説する。感染直後に素早く対応する自然免疫応答を説明し、自然免疫応答に引き続いて起こる適応免疫応答は、リンパ球表面の抗原受容体を介した特異的認識を介して異物を排除し感染から宿主を守ることを説明する。		

本書記載内容は、予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※主としてメディア授業(オンデマンド型または同時双方向型)により実施される授業科目を指します。詳細は千葉大学シラバス(<https://www.chiba-u.ac.jp/academics/course/index.html>)を参照ください。